中央社保協2022年度国保改善運動学習交流集会 活動交流

全商連「国保提言２０２２」について

2022年12月11日

全商連常任理事・牧伸人

１　はじめに

　　コロナ禍の経験を踏まえ、2019年公表「国保提言」を改訂

２　主な内容

一、コロナ禍と日本政治の矛盾と前向きな変化

二、過酷な負担と徴収の実態

１．高すぎる国保料・税の実態とその原因

２．生業と受療権を脅かす強権的徴収と正規保険証取り上げ

３．国保制度の改悪を招く都道府県単位化問題

三、改善提言

１．国民の「受療権」「健康権」を守るために

提言１　強権的徴収や保険証の取り上げ、

「資格証明書」「短期保険証」の新規発行をやめる

提言２　国保料・税の減免と窓口負担の軽減を

①低所得者向けの国保料・税の減額・免除制度を拡充する

②一部負担金の減額・免除制度を改善し、積極的に適用する

③高額療養費制度の算定方法を改め、広く適用する

提言３　傷病・出産手当の創設など医療制度の改善を

①コロナ禍の前進を生かし、傷病手当の恒久化を

②出産手当で、産前産後期間の生活支援を

２．「無理なく払える」国保料・税に

提言４　国庫負担の引き上げを

提言５　自治体の法定外繰入の継続を

提言６　応能負担の制度に改める

３.地方自治に基づく国保の構築を

提言７　市町村の主体性を尊重し、安心して医療を受けられる制度に

３　今後に向けて